

環 境 政 策

2009年3月27日制定

パルシステムは、「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」を基本理念に、「環境と調和した事業を進める」を事業理念として事業と運動を展開し環境保全や資源循環型社会の構築を目指します。地球環境問題は、「食料」「エネルギー」「くらし方」の問題が根底にあると認識するとともに事業と運動両面から様々な取り組みや組合員主体の生協という組織ならではの環境活動を推進しながら社会貢献していきます。そして、現在の「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」の社会システムから、脱原子力発電や再生可能エネルギー拡大を含めた資源循環型の社会システムへ転換させていくことを目指します。

1. 基本方針

- (1)地球温暖化防止のためのCO₂排出総量削減の取り組みを事業面と運動面で展開します。脱原子力発電や再生可能エネルギーの普及を推進し、持続可能な環境保全・資源循環型の社会づくりに貢献します。
- (2)環境活動、環境に配慮した商品づくりを通してくらし方の見直し活動を組合員と共に推進します。
- (3)日本の農林水産業を「自然との共生」「生物多様性保全」「森林保全」などくらしと社会をつくる基本の産業と捉え、環境保全型農業推進に取り組みます。

2. 課題別目標

- (1)パリ協定を踏まえて更なる省エネルギー社会を推進し温室効果ガス総量削減に努めます。
 - ①「世界の平均気温上昇を2度未満に抑える」というパリ協定を重く受け止め、生協の事業面、運動面の双方でCO₂総量削減の実施と目標の達成に取り組みます。
 - ②事業活動の省エネルギー化に加え、情報やサービスを提供することで、組合員家庭における省エネルギー化を推進します。
- (2)環境に配慮した商品づくりと普及に取り組みます。
 - ①環境に配慮した商品の取扱品目を増やし、供給促進活動を通じて組合員利用を広げます。
 - ②環境負荷の軽減や人体への影響に鑑みて有害化学物質削減を目指し、合成洗剤から石けんへの切り替えを呼びかけ、運動を広げます。
 - ③生協独自のリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）を運動と事業の両面で促進し、資源の循環に取り組みます。
 - ④包材を始めとするプラスチックの削減を進めるとともに、プラスチックごみ総量削減の取り組みを推進します。
- (3)くらしの見直し活動を組合員参加で広めます。
 - ①エネルギー政策「減らす」「止める」「切り替える」の推進を始め、様々な視点から組合員一人ひとりが実践できる環境負荷の少ないくらし方を広めていきます。
 - ②環境課題に対し、行政やNPO及び市民団体と連携した組合員活動を展開します。
- (4)脱原子力発電社会実現と持続可能な社会を目指し、再生可能エネルギーを中心とした電力の開発と普及に取り組みます。
 - ①脱原子力発電に向けて組合員に再生可能エネルギーという選択肢を提供し、消費者が未来を選択できる社会づくりを目指します。また、グループ内事業所で使用する電気の切り替えを推進します。
 - ②産直産地等とのネットワークを生かして電源開発を行い、再生可能エネルギーへのシフトを地域との協同で推進します。
 - ③地域の雇用や経済活動が豊かになる地域主導の電源開発に連携することで、地域貢献と持続可能な地域の社会モデルづくりに取り組みます。
 - ④他団体と連携して原子力発電再稼働中止を求める運動から持続可能なエネルギー政策を求める運動へと活動を発展させます。
- (5)持続可能な環境保全型農業を広げます。
 - ①持続可能な環境保全型農業を地域に広めるため、「コア・フード」「エコ・チャレンジ」の農産物の組合員利用を広げます。
 - ②生物の多様性を保全する農業の営農・栽培技術確立と普及を生産者と消費者が協同して取り組み、生きものとの共生を大切にするという価値観を広げます。
 - ③畜産飼料の海外依存を減らして国内自給を高めるため産地と連携して飼料米を始めとした自給飼料の活

用を推進します。

- ④日本の食料自給率向上のため、国内生産物の安全性等を認知してもらい組合員利用の拡大につなげます。
- ⑤食品残渣削減を進めるとともに発生した食品廃棄物を飼料や堆肥として生かす取り組みを推進します。

(6) 森林保全、生物多様性保全を軸として地球環境を保全する事業と運動を広げます。

- ①日本の森林・林業再生の取り組みを通じて生活に身近な里山、棚田、河川や生態系など、生産者と共に日本の貴重な自然を保全して次世代に引き継いでいきます。また、林業から生まれる木工製品の利用普及に取り組みます。
- ②水産業者・漁業者と連携しながら河川や海洋の環境を保全し水産資源を持続的に利用していく活動に取り組みます。

2009年 3月 27日 制定

2009年 3月 27日 施行

2017年 5月 26日 改定